

研究部ニュース 2024年度第2号

2024年12月23日（月）

発行者：研究部

平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。9月から始まった2学期もまもなく終了です。研究活動も順調に進めています。

平野五校園共同研究発表会について

附属平野五校園では、今年度より『新しい社会を創造する子ども一人ひとりの育成を目指した教育課程の実施と教育評価～「かかわる」「つくる」ことを通して～』という研究主題を設定し、3年間にわたり協同的に研究を進めています。

1年次にあたる今回の共同研究では、これまでに作成した「主体性コモン・ループリック」を活用し、4つのユニット（教科・探究学習・校種間連携・支援/養護教育）にわかれ、校種間連携や「かかわる」「つくる」を意識した指導例、子どもの姿の研究に取り組んでいます。

11月2日（土）に開催された平野五校園共同研究発表会では、本研究の主幹校である附属平野中学校から基調提案がされた後、各教科・探究学習・校種間連携・支援/養護教育のユニットから研究内容についてポスターセッション形式で発表を行ないました。

教科・探究学習・支援/養護教育のユニットからは『①各校園種の園

児、児童、生徒の姿を共有する ②コモン・ループリックの指標項目のステージに当てはめる』について、校種間連携のユニットからは『①各校園種の行事や取り組みの共有（時期を含め） ②今後、具体的にどのような校種間連携・交流ができるのか、また、期待できる効果』についての発表が行われました。発表後には参会者の皆様にもご協力をいただき、ポスターの項目に沿った子どもの具体的な姿を付箋に書いていただいて、ともにポスター作成を行いました。

各ユニットの発表後には、本学教員養成課程の3名の先生方から指導助言をいただきました。また発表会後のアンケートでは参会者の皆様からご助言と温かいお言葉をいただきました。

平野五校園共同研究も今年度で20年目を迎えました。今年度から新たなテーマでスタートを切り、日々の教育活動をより充実させることを目指し取り組んでいます。次年度も今年度の活動を生かし、附属平野五校園で力を合わせて研究に邁進したいと考えています。



全校研究について

今年度は、前研究で課題として挙げた「カリキュラム・マネジメントを行った上での評価（特に教科ごと年間指導計画の評価）の方法」を考察するために、学習指導要領、シラバス、年間指導計画、単元計画、個別の指導計画、授業略案の一つ一つを段階的に、編成と評価をしていく過程の検討を進めてきました。

今年度は、2月8日（土）に研究大会（3年次）を予定しています。当日は各学部の授業を公開し、午後には、『小学部のくらす』『中学部の数学』『高等部の国数』の授業について研究協議を行う予定です。そこでは、全国の先生方に本校の研究を発信するとともに、ご意見やご質問を受けて、今後の本校の研究活動に活かしていきたいと考えています。

